

令和7年度第2回焼津市地域ケア推進会議 議事録

開催概要

○ 日時 令和8年3月24日(火)午後7時～午後8時40分

○ 場所 焼津市役所本庁舎1階会議室1B

○ 出席者

【委員】

東野定律委員(会長) 渡邊英勝委員 板谷徹委員 新井恵子委員 神谷剛史委員
赤星明美委員代理(堀尾恵三委員) 矢部貴士委員 鈴木正志委員 袴田照義委員

【事務局】

増井太郎健康福祉部長 壁下敏弘市長戦略監 飯塚隆晴地域包括ケア推進課長
(地域包括ケア推進担当) 松田智仁係長 松村美代子主査 萩正和主査 青島一浩主査
岡崎雄太主査 後藤翔太主任主事 峰澤卓巳事務員
(高齢者福祉担当) 小長谷祐介係長
(地域包括支援センター) 北部・法月秀人管理者 中部・久保千恵子管理者
南部・望月旬子管理者 大井川・八木幸世管理者

【関係課】

萩山正行介護保険課長 藪崎耕次保険給付担当主幹

○ 欠席者

【委員】 蒔田俊弘委員

議事録

1 開会

2 挨拶

(東野会長)

本日は、本年度第2回の会議となります。本年度取り組んできた事業内容を共有し、次年度に向けてご意見をいただく場となります。世界情勢は暗い話題が多々ありますが、ぜひ焼津市を明るくしていくため、皆様の知見の中で忌憚のない意見を出し合いながら、ご検討をお願いします。

3 報告事項

(1) 前回会議における主なご意見(振り返り)

(2) 令和8年度各事業に係る主な取組(予算関係)

(3) 各事業に係る協議・取組の報告及び計画

(事務局)

<(1)(2)(3)を一括して説明>

(渡邊委員)

一般介護予防事業の地域介護予防活動支援事業について、34.4%増の内容は主にどのようなものですか。

また、訪問型サービス・活動Aで、介護サービス事業者以外の実施主体というのは、具体的に想定している提供者はありますか。

(事務局)

地域介護予防活動支援事業については、ころばん体操で貯められる「ころばんポイント」

の参加者が増え、ポイント到達者全員への景品や、また、実施会場も増えている中で、新規の団体への物品購入補助や、継続団体への体操指導に要する専門職の経費も増額しています。

訪問型サービス・活動Aについては、高齢者に限らず生活上の手助けをするサービスを行っている事業者の参画を考えています。

(東野会長)

インセンティブ交付金についてですが、地域事情における制限でどれだけ努力しても得点につながらないこともあると承知しています。県内2位ではありますが、事業に取り組んだ後の成果を意識しながら進めていただくと更に良くなるのではないのでしょうか。

4 協議事項

(1) 各事業に係る協議・取組の報告及び計画

(事務局)

<説明>

(渡邊委員)

地域ささえあい協議体については、事務局からの説明のとおりです。あとは、ころばん体操や居場所の空白地帯を埋めていくことに力を入れています。地域を良く知る生活支援コーディネーターと専門的な支援を行う地域包括支援センターが連携して取り組んでいると思います。また、移動支援では、地域の社会福祉法人が協力してくれているなという印象です。

(板谷委員)

在宅医療・介護連携推進協議会については、やはり顔の見える関係をつくっていくという中で、ドクターズカフェは定着してきていると感じています。災害時については、以前から話題には挙がっていましたが、何から取り組めば良いのかというところで、今回場面が整理できたので次年度取組を考えていきたいと思っています。

(新井委員)

認知症対策連絡会議については、認知症施策推進計画の策定に当たって、本人や家族の声をヒアリングやアンケートで聴きながら進めてきており、次年度も引き続き声を大事にしていきたいと考えています。

(神谷委員)

認知症の取組の中に「聞こえのセルフチェックシート」とありますが、関連があるということでしょうか。

(事務局)

難聴により認知症になるリスクが高いとされており、聞こえづらいことで他者との交流が減ってくることもあるため、インセンティブ交付金でも難聴対策が項目に加わるなどしています。本市では、焼津市医師会の耳鼻科医師に監修いただき、チェックシートを作成し、該当する場合に受診する耳鼻科を掲載しています。補聴器購入補助も実施しており、併せて取組を推進していきたいと思っています。

(板谷委員)

協議体のところで、就労的活動とありますが、具体的にどういった活動のことを指して、対価はどのようになっていますか。

(事務局)

就労ではなく、あくまで就労的な活動ということで、生きがいや社会参加を主な目的と

して行うものです。体操会場には行きたくないという人に対し、多様な選択肢の一つとして、例えばある店舗の庭の草むしりを皆で行って、終わったらお店の人からお茶をご馳走になるとか、時間も短く30分程度とか就労のように縛られずに活動し、対価は現物でちょっとした謝礼をもらう形が多いです。

(渡邊委員)

在宅医療介護連携のドクターズカフェは非常に面白い取組だと思いますが、医師は非常に忙しい中、来てくれるのでしょうか。

(板谷委員)

医師会で、参加してくれそうな医師に声を掛けて集めていて、欠員があったら私がそこに入る形で行っています。

(2) 地域課題に係る協議・取組の報告及び計画

(3) 令和8年度地域ケア会議の運営方針

(事務局)

<(2)(3)を一括して説明>

(神谷委員)

市全体の課題について、取組が進む中で課題が明確化してきているのは良いことだと思います。私ども北部包括支援センターのコンビニや金融機関と連携していくであるとか、中部や南部では圏域内の疾病に着目して対応しているとか、それぞれの圏域で行っていることをモデル実施のように捉え、他の圏域でも取り組んでいけると良いかと思います。ゼロから始めるのは大変なことなので、他で取り組んだことを共有してスムーズに展開できれば理想です。今日のように互いに共有していくことで、市全体で取り組んでいけると思いました。

(赤星委員代理)

焼津市医師会でサービス・活動Cに取り組んでいますが、短期集中型になるのでサービス終了後に地域の活動に参加できれば良いと思っています。参加できる場所を示すことでうまくつながるのかなと思います。

(矢部委員)

ケアマネジャーに求められる知識が幅広い中で、ドクターズカフェのような活動があるとケアマネジャーにとっても良いなと感じました。また、包括支援センターとして医療的な対応が必要ということになると保健師がメインになってきますが、保健師の確保が非常に難しい状況であるため、看護協会などと連携し確保を図っていくことが課題だと思っています。

(鈴木委員)

大井川圏域ではころばん体操の参加者が非常に増えており、体操会場に来る方は他者とのコミュニケーションや楽しみを見出しているのが普及に一役買っていると思います。中部圏域におけるマンションのセキュリティ問題というのは、まさに大井川圏域と異なる地域性であることを感じました。

(渡邊委員)

地域で医療費の分析をしてその対策を協議するなど素晴らしい取組だと思いました。また、ころばん体操を活用して生活機能低下を早期発見して必要な取組につなげるなど工夫してやられているなと感じました。

(板谷委員)

各包括支援センターの取組を見ていると、素晴らしい取組だと思う一方で、それぞれ業務が多くなっている中で苦勞されているのではないかと想像しています。2040年に向け高齢者が増え担い手が減るという中でパンクしないよう、行政への要請になりますが予算や人員を手厚くしていただければと思います。

(新井委員)

中部圏域のマンション問題について、都市部では以前から言われていましたが焼津にも時が来たかと思っていました。管理会社としても不安に思っている面があり、相談先として包括支援センターがあるのは心強いと感じてもらえるかもしれませんが、日頃の業務も多くある中なので考えながら進めてもらえればと思います。

(袴田委員)

私のところは市内で2番目に大きい、人口1万を超える自治会となっています。お互い様の精神で、高齢者の困りごとの声に対し助けることがあります。こういうのをチームを作ってやると助けになるのではないかと感じています。

(東野会長)

全体を通じてお伝えします。実は、私今回の会議の前に各包括支援センターへ伺い、今日挙がっていた圏域会議の課題についても話をさせていただきました。地域ケア会議は個別・圏域・推進会議とある中で、まずどのような問題が起こっているのか、対象者や問題を明確にします。その中で優先順位が高いものを捉え、どのように解決していけるのかを考えていきます。課題を具体的かつ明確にすると会議で話し合う質が上がります。会議では誰がどのようなことができるのか、誰に何を頼めるのかを分かるようにしていくためには、顔の見える関係づくりが有効となります。これができるのが地域ケア会議の意義で、これができれば連携も進んでいきます。

また、整理された課題の一步先を見据えた施策を考えていく必要があります。例えば、ころばん体操や居場所を維持できるのかを考えたとき、担い手を増やすことを考え地域の企業を誘うとか、子どもの領域と併せて考えることでその親も巻き込むような仕組みもあり得るので、一步先の対策を考えたいところです。

身寄りなし問題についても、リソースが決まっている中でどのような支援が提供できるのかを早期に考えていかなければなりません。

また、包括支援センターに負担を掛け過ぎないという視点も大事で、人員が限られている中で相談が次々寄せられるため、働きやすさを考えていく必要があります。例えば相談でのチャットボットの活用などがあります。包括支援センターや行政が抱えこまなくて済むよう、住民側の価値観を変えていく取組、ある程度は地域で解決できる仕組みも必要です。まだまだ行うべきことが多く、知恵を出し合う必要がある状況ですので、皆で頑張ってください。

6 その他

令和8年度第1回を8月に開催予定

市職員の人事異動について報告

7 閉会

焼津市地域ケア推進会議 委員名簿

任期 令和6年9月1日～令和9年8月31日

	氏名	所属	肩書	備考
1	東野 定律	静岡県立大学	教授	地域ケア学識経験者
2	渡邊 英勝	静岡福祉大学	教授	第1層地域ささえあい協議体 座長
3	板谷 徹	焼津市医師会	副会長	在宅医療・介護連携推進協議会 会長
4	新井 恵子	静岡福祉大学	教授	認知症対策連絡会議 会長
5	神谷 剛史	北部地域包括支援センター	センター長	社会福祉協議会 地域づくり課長
6	堀尾 恵三	中部地域包括支援センター	センター長	焼津市医師会 会長
7	矢部 貴士	南部地域包括支援センター	センター長	(社福)正生会 事務長
8	鈴木 正志	大井川地域包括支援センター	センター長	社会福祉協議会 大井川支所長
9	袴田 照義	自治会連合会	自治協力員	小川第11自治会 会長
10	蒔田 俊弘	民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	民児協高齢者福祉部会長 R7.12～

事務局

増井 太郎	健康福祉部長
壁下 敏弘	市長戦略監
飯塚 隆晴	地域包括ケア推進課長
松田 智仁	地域包括ケア推進担当係長
松村 美代子	同担当主査
萩 正和	同担当主査
青島 一浩	同担当主査
岡崎 雄太	同担当主査
後藤 翔太	同担当主任主事
峰澤 卓巳	同担当事務員
小長谷 祐介	高齢者福祉担当係長
法月 秀人	北部地域包括支援センター 管理者
久保 千恵子	中部地域包括支援センター 管理者
望月 旬子	南部地域包括支援センター 管理者
八木 幸世	大井川地域包括支援センター 管理者